

マニュアルの追加

緊急性の確認

意識

呼吸

循環





	経過観察 	注意して経過観察 	すぐに受診 	救急車を呼ぶ 
一般状態 およそ 4か月未満	機嫌は変わらない 哺乳力は変わらない	少し不機嫌だが、 哺乳力は変わらない	活気がない 哺乳量が少ない	哺乳しようとししない
およそ4か月 ～4歳未満	機嫌は良い・変わらない 比較的元気である	不機嫌だが遊ぶことはできる	不機嫌でずっとぐずる ぐったりしている 全く遊ばない	起きようとししない
およそ 4歳以上	元気にしている 比較的元気である	元気はないが、 苦しそうではない	活気がない 苦しそうである	ひどく苦しそうである
顔つき 表情	普段と変わらない 頬が赤い。	元気はないが 顔色は悪くない	苦しそうである	蒼白になっている 無表情である
睡眠	スヤスヤ寝ている ウトウトしている	抱っこすれば眠れる 怒って寝ない	少しの刺激で起きる	しんどくて眠れない 変に興奮して寝ない
食事摂取	普段通り食べる 少し落ちている	水分は摂れている	欲しがらない 水分も摂れない	欲しがらない 水分も摂れない
排尿	良く出ている	少ないが出ている	あまり出ていない	12時間以上出ていない
意思疎通	普段通りにできる	聞けば答える	話したがらない	呼掛けに応じない 相手が誰かわからない 反応がみられない
手足の冷たさ	環境温の影響の可能性 顔色は悪くない 爪の色も悪くない 温めると戻る	高熱時の悪寒の可能性 顔色は悪くない 爪の色も悪くない 温めると戻る	顔色も悪い気がする 口唇色は悪くない 温めてもまだ冷たい気がする	氷のように冷たい 異様に冷たい 爪の色・顔色・口唇色が悪い/青い/土色 30分さすっても冷たい

手足が冷たい

1) 受診を見きわめる手がかりと観察ポイント

- ① 手足の冷たさの程度 いつから？ 温めたときの反応
- ② 顔色・口唇色は？
- ③ 全身状態:意識は？ 受け答えできるか？ 手足を動かせるか？

2) 受診の目安

	経過観察 	注意して経過観察 	すぐに受診 	 救急車を呼ぶ
冷たさの程度	冷たいが異様ではない 温めたら戻る	冷たいが異様ではない 温めたら戻る	冷たい 温めてもまだ冷たい気がする	異様に冷たい 氷のように冷たい 温めても戻らない
顔色・口唇色	変わらないか 一過性で温まると戻る	変わらないか、 一過性で温まると戻る	良くない感じがする	悪い/青い/土色
全身状態	良い	保たれている	良くない	悪い
他の症状	ない、または軽微 環境温度が低い	発熱 悪寒	特別な基礎疾患	意識障害 アナフィラキシーが疑われる急な変化 数時間経ってもより悪い

3) 手足が冷たいときの対処方法と注意事項

- 多くは、環境温度が低い場合や発熱時の経過中の皮膚温度の変化であり、手足をマッサージするようにさすることで、血行が良くなり改善する。寝具などで保温する。
- 心筋炎等による心原性ショックでは、手足を温めたりマッサージしただけでは抹消循環不全は改善せず、時間とともに冷たさが増す。顔色・口唇色が悪い場合は救急車を呼ぶ。
- アナフィラキシーショックでは、アレルゲン摂取または暴露後30分以内に急激にショック症状が現れる。意識障害やじんましん、喘鳴などを伴い、手足も冷たくなる。迷わず、救急車を呼ぶ。